

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日13:00～14:00	会長	島村恵三
例会場	ANAクラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹事	加藤正広
承認	2013年6月18日	公共イメージ 向上	藤谷 猛



2022～2023年度名古屋アイリスRCのテーマ

ちょっと無理して一步を踏み出し、
10年後のアイリスを創造し、
独自性を発揮して活動しよう。

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

第417回 例会

2022年9月28日 13:00～

- 司 会 坂口忠正 例会・出席・親睦委員
- 斉 唱 君が代、手に手つないで
- 出席報告 出席者数 17名 / 27名
出席率 63.8%
- ゲ ス ト 竹川陽子様
名古屋北ロータリー 水野吉紹様
- ビジター 東京紀尾井町 RC 目代順平様
(大和田百香様)

ニコボックス

- 名古屋北 RC 当クラブ名誉会員 水野吉紹様
本日、卓話させていただきます。
- 東京紀尾井町 RC 目代順平様
本日は、ありがとうございます。竹川さんを宜しく
お願い致します。
- 島村恵三 会長
ご心配をお掛け致しました。島村、復活致しま
した。
- 加藤正広 幹事
竹川陽子さん、ようこそアイリスの体験例会へお
越し下さいました。本日の卓話「ロータリアンの
心得」水野様、宜しくお願い致します。そして東
京より目代順平様、大和田百香様、ありがとうございます。
- 安井忠 ロータリー財団委員長
水野さん、いつもありがとうございます。又、島
村会長おかげです！
- 荒山久美 例会運営委員長
水野様、久々のお越しありがとうございます。本
日の卓話宜しくお願い致します。

会長挨拶



みなさん、こんにちは。

長い間、例会を欠席し、大変ご迷惑をおかけしました。体調も良く、術後の経過も順調です。入院して改めて医療従事者の方々の大変さを感じました。

コロナ禍において、医療従事者が過酷な勤務環境の下で業務に励まれているのは、テレ

ビ等の報道でよく伝えられておりますが、コロナ以前よりも彼らの勤務環境が大変なものであると改めて認識いたしました。

私の担当医師は2週間の入院期間中、毎日様子を見に病室に来て下さいました。ということは2週間休みなしということで、その間にオベがあったり、外来診療、夜間勤務、休日でも緊急対応のため、自宅待機など日々患者のために努力されているのだとつくづく思いました。また、看護師の方々もみなさんプロフェッショナルなスキルを身につけられていて全幅の信頼を寄せて身を委ねることができます。また、技術面だけではなく、精神的にも患者に寄り添い、勇気づけられ、前向きな気持ちにもっていつてくれます。

病気も年齢も違う、自力で歩ける、補助がいるなど様々な患者さんがいますが、すべての患者に合った最適な対応をされていると感じました。

今回、入院して改めてすべての医療従事者にリスペクトと感謝の意を表し、少しでも勤務環境が改善されることを願います。

幹事報告



今日の例会は、北 RC の当クラブ名誉会員であります水野さんの卓話です。

新入会員様用に「これだけは知っておきたいロータリアンの心得」を題材に卓話を載せます。そして、先ほどもご紹介が有りました新入会員予定者の竹川陽子さんが来られております。竹川様をご紹介頂きました、東京紀尾井町ロータリークラブの目代純平様とそのお会社チェックフィールド(株)の大和田百香様もおいでいただいております。皆様どうぞ宜しくお願い致します。

以上、本日の幹事報告でした。

委員会報告



岩崎幸弘 奉仕プロジェクト(職業・社会・国際)委員長が、9月21日(水)15:30に名鉄グランドホテルにて開催されました「2022-23年度 地区国際奉仕委員会 第1回クラブ委員長会議」に出席されました。その会議での内容をご報告頂きました。

「当クラブは、まだ国際奉仕の経験がなく取り組み方も試行錯誤の状態ですが、他クラブの

状況や今後の方向性についての話は大変参考になったとの事です。また一つのクラブ単体で国際奉仕に挑むやり方以外にも複数のクラブ共同での奉仕もあることが分かりました。今後の国際奉仕についての在り方を考えるうえで、少人数の最初の国際奉仕としても良いかと思いました。」

岩崎委員長には、例会後の参加でスケジュール的にも苦勞されたと思います。本当にお疲れ様でした。

卓話

演 題：ロータリアンについて

卓話者：名古屋北 RC(当クラブ名誉会員)

水野吉紹 様



当クラブの名誉会員でもある名古屋北ロータリークラブの水野吉紹様より「ロータリーについて」のテーマで卓話を頂戴致しました。最近、入会された会員だけでなく先輩会員も知らない事、忘れてしまったことを再度、学ぶ良い機会になりました。

卓話では、「ロータリーとは」に始まり、その定義、目的、義務、五大奉仕について学びました。また新しいロゴの使い方や規定審議会で決議されたロータリー運営の変化やインターアクトクラブ、RYLA についても詳しく学ぶ事が出来ました。すべてを解説頂くには、あまりに時間が短くご迷惑をお掛け致しました。水野様、ありがとうございました。



参考資料: 抜粋



「ロータリー」について

[2022.9.28.水曜日]
[名古屋北ロータリークラブ 水野吉紹]

ロータリーの定義

人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることがを奨励し、かつ**世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体**である。

「四つのテスト」(The Four-Way Test)

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

五大奉仕部門

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実地的な規準である。

- ①クラブ奉仕
- ②職業奉仕
- ③社会奉仕
- ④国際奉仕
- ⑤青少年奉仕

ロータリーの歴史(発祥)

1890年代は、アメリカ社会の変動期で、経済恐慌は自己主義や悪徳商法を生み犯罪・汚職・暴力が横行していた。新興都市シカゴはその代表であった。その中で1905年(明治38年、日露戦争中)画期的な組織が誕生しつつあった。2月23日、ハリスはシルベスター・シールと会食しながら、かねて暖めていたクラブ構想を打ち明けた。シールも積極的に賛同し、ガスターバス・ローアとハイラム・ショーレと落ち合い、4人は真の友情と相互扶助を求めてクラブを創立した。